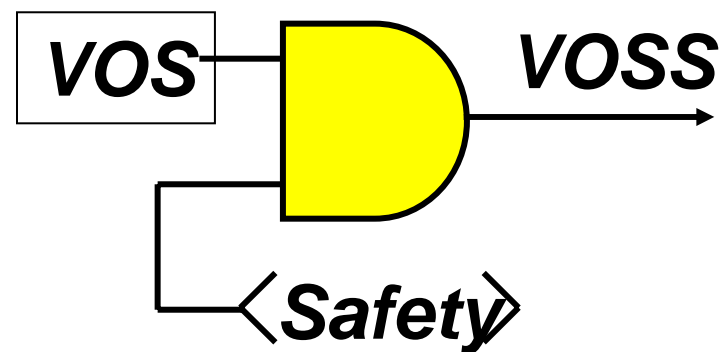




国立大学法人 長岡技術科学大学専門職大学院  
 技術経営研究科「システム安全専攻」



VOSのグローバルな展開:VOSS



VOSS認証マーク(案)

## 長岡技術科学大学専門職大学院の4つの特徴

**育てます**  
安全対応の中核人材

**在職のまま学べます**  
土日の集中講義及びE-  
Learning 活用

**役立ちます**  
社会人のキャリアアップ  
企業等の安全業務に係わ  
る有資格者育成

**実践的です**  
所属企業の現場を題材に演習  
企業内の問題解決、安全管理に  
直結

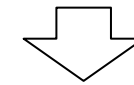
# 「システム安全」の定義と本専攻設立の目的

- ・ システムは「組織、人間、手法、材料、要素、装置、施設、ソフトウェアなどの複合体」です。システムの安全確保のためには、設計、製造、使用のすべての段階での災害・リスク要因の検出、評価、制御(除去)を行う必要があります。その災害、リスク及び安全の解析プロセスに対し、安全規格・法規を基盤とし、安全技術とマネジメントを統合的に応用することを「システム安全 (System Safety)」と呼びます。これまで日本で生じている事故・災害の約80%は、「システム安全」のアプローチが取り入れられていれば防げたという報告もあります。
- ・ 本専攻設置の目的は、国内外の安全規格・法規の上に立ち安全技術とマネジメントスキルを統合して応用する「システム安全」に関する実務教育及び専門職養成です。

## システム安全の概念と専門能力

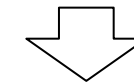
### 安全確保の基本思想

残存リスク、誤操作、誤作動があっても、災害・事故に至らないシステムの構築



### システム安全

リスク解析、安全解析に安全技術とマネジメントを統合的に適用(人的・経済的損失の最小化を図る)



### システム安全専門職に要求される専門能力

国内外の安全規格・法規を基盤とした、安全管理、安全設計、安全認証、安全規格開発

## 本専攻の設立目的と特徴

**< 安全認証 / 安全規格の適用・安全設計 / 安全管理ができる  
「システム安全専門職」を養成 >**

工学的知見 / 安全規格・法規の知識と実務能力 / 安全技術  
のマネジメントスキル 体系的教育

技術者に実務に即した教育を効果的に実施 社会人対象

専門性を示す学位の発行 システム安全修士(専門職)

## 安全のシナリオを作れる技術者の養成

機械の包括的な安全基準に関する指針  
ISO12100設計の一般原則

事後責任から事前責任へ  
PLからPLP(製造物責任予防)へ

## 事故と安全の責任

事後責任(結果責任): 責めに応ずる責任(後始末)  
補償責任、労災保険責任、刑法、民法、行政法

事前責任(設計者責任、事前説明責任)  
国際規格の基本: 達成感 認証

応えて“おめでとう”(プラスの責任)

安全認証学の講義風景(社会人学生16名)  
(ゴールデンウィーク、土日、夏休みを利用して講義しています)



講義・実習風景



# 学生16人で教員が14名 すごい



杉本教授



武藤教授



三上教授



山本教授



永田教授



門脇教授



福田助教授



安部助教授



木村助教授



渡辺助教授



平尾客員教授



ノイドルファ非常勤教授



田代非常勤講師



蓬原非常勤講師

## 社会人のための履修上の特徴

### < 会社を休まずに履修 >

(1) 基礎科目及び応用科目：主として土曜日及び日曜日開講

(2) 基礎演習：土曜日及び日曜日と勤務先における勤務終業後2時間の指導

(3) 実務演習(インターンシップ)：

(a) 予備教育(終業後2時間、15日間(3週))

(b) インターンシップ(全日、10日間(2週))

(4) 実務演習(プロジェクト研究)：

主として勤務先にて勤務終業後の2時間、60日間で実施

(5) ITを活用した学生・教員間のコミュニケーション



## カリキュラム編成の考え方と特色

システム安全に関する国際的に通用する体系的な知識と実務能力を涵養するために、国内外の安全規格・法規を理解させ、それを基盤とした各種業務分野における実務能力を身に付けさせることを目指し、基礎科目、応用科目、演習を設置し、次の考えに立ちカリキュラムを編成しています。

- (1) システム安全の考え方と実務のための基礎が身に付くよう、基礎科目を設け、経営・政策、リスクベース、マネジメント技術、安全規格、安全設計、認証システム等に関する基礎知識を習得させる。
- (2) 実務能力涵養のため、ケーススタディを含めた、リスクアセスメント実習、規格立案書・安全設計立案書作成演習、安全認証演習、組織安全管理演習を実施する。
- (3) 各技術分野の安全に関する専門知識を身につけるための応用科目を設ける。
- (4) 実務能力と国際感覚を身に着けるために、海外(国内)の安全認証機関、安全技術者養成機関等で、インターンシップを行う。
- (5) システム安全に係わる特定のテーマでプロジェクト研究を行い、システム安全に関する体系的な知識と理解を深める。

## 一期生(平成18年度入学)のプロフィール

年齢分布	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	合計
	0人	6人	5人	5人	0人	16人

所属組織の 業界分布	機械・ 金属工業	電気電子 工業	化学・ 食品工業	その他 産業	公務・ 公的機関	無職
	4人	3人	3人	4人	1人	1人

居住地分布	新潟県	6名	千葉県	1名	群馬県	1名
	東京都	1名	茨城県	2名	大阪府	1名
	神奈川県	2名	長野県	1名	京都府	1名

## 二期生の募集要項

(一次募集は、すでに募集を終了しております)

	二次募集(5名)
願書配布	平成18年7月中旬～
出願期間	19年1月22日～1月25日
試 験	19年2月5日
合格発表	19年2月22日

\* 詳しくはパンフレットをご参照下さい。

## お問合せ先

長岡技術科学大学 技術経営研究科  
システム安全専攻システム安全系・系  
長(教授) 武藤睦治

〒940-2188 新潟県長岡市上富岡町1603 - 1  
TEL. 0258-47-9735 FAX. 0258-47-9770  
e-mail: [mutoh@mech.nagaokaut.ac.jp](mailto:mutoh@mech.nagaokaut.ac.jp)